

# 新<sup>しん</sup> 緑<sup>みどり</sup> ニュース



病院の理念

確かな医療技術  
やさしい対応  
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん  
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院  
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7  
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271  
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



## 「関節機能再建センター」を設立しました



このたび、横浜新緑総合病院整形外科に、**関節機能再建センター**を設立することになりました。

**<対象疾患>** 膝関節や股関節の痛みでお困りの患者様が主な対象ですが、足関節の痛み、外反母趾でお困りの患者様など、関節外科全般を診察させていただきます。

**<治療>** 手術だけでなく、リハビリテーションや薬物治療、関節内注射による保存治療にも力を入れております。痛みの少ない関節内注射も好評です。当センターの診察は15年以上のキャリアと、関節外科手術を1000例以上執刀している整形外科専門医が担当させていただきます。

**<オーダーメイド医療>** 当センターのモットーは、患者様のご希望に応じたオーダーメイド医療です。まずは手術が本当に必要か検討し、手術を選ぶ場合も、できるだけ身体へのダメージが少なく、回復が早い治療を選択します。

膝関節の痛みであれば、若くて活動性の高い患者様には骨切り術とよばれる、人工物を使わずに下肢のバランスを整える手術も可能です。人工関節置換術を行う場合も、可能な限り、半置換術と呼ばれる、骨を最大限残し、ダメージの少ない手術方法を選択しております。また、人工膝関節全置換術につきましては、より術後の膝の安定性の高いインプラント、膝の曲がりが良いインプラント等、患者様のニーズに合わせて最適なインプラントを選択しております。

人工股関節についても、傷が小さく、回復の早い MIS (エム・アイ・エス) と呼ばれる手術アプローチと、患者様の体格に合わせて手術中に脚長やバランスを整えられるシステムを使用することにより、手術後一週間以内での早期退院も可能です。もちろん、しっかりリハビリを行い、安心して自宅へ帰りたい患者様にはご希望に応じたプログラムを組んでいます。病院の都合を押し付けるのではなく、患者様のご希望に応じた個別プログラムで対応させていただきます。

**<受診案内>** 当センターの専門外来は木曜日、金曜日の午後を実施しております。初診の患者様からお電話で予約可能です。紹介状も不要です。他院で手術と言われたけれど、本当に手術が必要か判らない、という方も歓迎です。

関節の痛みでお困りの患者様はお気軽にご相談ください。

整形外科部長 上野 岳暁 (写真中央)



関節機能再建センター スタッフ

## 平成27年度 内視鏡検査件数 1 万件を突破



内視鏡検査実績 (件数)

当院は年々増加する内視鏡検査に対応するため、平成25年の病院増築で内視鏡センターを拡充、平成26年に消化器センター診療体制を充実させ検査件数は飛躍的に増加、平成27年度は11,074件となりました。

日本消化器内視鏡学会専門医が10名おり、平均で上部内視鏡(胃カメラ) 30件/日、下部内視鏡(大腸カメラ) 10件/日を実施しています。

内視鏡センターでは、的確な診断と治療はもちろん、患者様のご希望に応じて鎮静剤を使用し、可能な限り負担を和らげるように検査を行うことを心掛けております。今後も地域のみなさまの医療を支える病院として努めて参ります。



6階東病棟は40床のベッドを有しており、整形外科を中心に泌尿器科、脳神経外科の患者様を受け入れています。整形外科では4月に脊椎疾患を専門とする整形外科医が増員され、また関節機能再建センターも開設し、専門分野の診療に力を入れています。

整形外科の患者様の多くは、ケガや病気により歩けなくなるなど運動機能が低下します。そのため、看護師は入院時より「玄関まで階段は何段あるのか」「ベッドまたは布団で寝ているのか」などとご自宅の状況や暮らしの場所を



6階東病棟 スタッフ

確認し、退院後の生活を考えた支援を行っています。

また、患者様が療養に専念できる環境を整え、より良い医療を提供するためには、医師、看護師だけでなく、薬剤師、リハビリスタッフ、医療相談員などと連携を図ることが重要であり、多職種カンファレンスで情報共有し、意見交換を行っています。患者様が安心して入院生活を送り、退院後の生活を不安なく過ごせる様に、病棟スタッフ一人ひとりが頑張っています。



**鳥** 「熊本地震」災害支援活動に参加 外来看護師 長島 良江

この度の熊本地震における被災者および関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

私は神奈川県看護協会の要請で、災害支援ナースとして5/11～5/14まで上益城郡嘉島町にある町民体育館（約420名が避難）で看護活動に参加しました。

救護室には段ボールで作成されたベッドが4台あり、検温、処置、清拭、病院受診の説明や救急要請など病状に応じて対応しました。体育館内全体を巡回して被災者に頻りに声をかけ、体調の相談やインスリン注射など療養援助、生活援助なども行います。

また、衛生管理・感染予防のため、使用の少ない深夜にトイレ・洗面所の掃除を行っていました。

活動中は医師・保健師・看護師・薬剤師・栄養士・JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）や地域ケア関係者など沢山のボランティアとミーティングを行い、情報共有しながら個々の生活スタイルに合った援助を行います。

余震が続き被災者は不安・不眠が続いていますが、「24時間同じ空間に看護師がいる事が安心する薬です」と言っていただき、胸が熱くなりました。

1日でも早い被災者の方々の復興を願っています。



長島 看護師



避難所



段ボールベッド



地震で倒壊した家屋

平成28年 みんなの健康講座 主催：横浜新緑総合病院 ※参加費無料

6月18日（土） シリーズ糖尿病 第18回 「あなたの知らない食物繊維の世界」  
講師 横浜新緑総合病院 栄養科 管理栄養士 田村 公香



7月16日（土） 「貧血について」 横浜新緑総合病院 森 啓（ひらく） 内科部長  
会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分） 時間 午後1時30分～  
お問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直通） 045-984-2400（代表）

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/> QRコード→

